

650社を超える 企業が集積

日本海側の物流拠点である石狩湾新港と連動する石狩湾新港企業団地には、650社を超える企業が操業し、約2万人の雇用を創出しています。

北海道の未来をリードする地域としてさまざまな産業が集積し、国内外を問わず大きな期待が寄せられています。

In the corporate park at Ishikari Bay New Port, more than 650 companies are operating, creating approximately 20,000 jobs. With an accumulation of industries, this area is expected to lead the future of Hokkaido both within and outside Japan.

日々の仕事に
やりがいを感じています



阿部鋼材(株) 石狩工場

鋼板加工を得意としており、精密切断したものを曲げ・プレス・溶接加工を施し、最終的な製品へと組み上げています。道内有数の1,000トンプレスを筆頭にさまざまな工作機械が並ぶこの工場では、石狩湾新港チップヤードの設備に使用される鋼材も製造しました。



ここには、ものづくりの
醍醐味があります



シンセメック(株)

各企業のニーズに答え、精密機械や電気コンピューターなどのスペシャリストが複雑なメカニズムの機械を考案し、部品の製造から組み立てまでを行っています。「カボチャ乱切り装置」「ジャガイモの自動芽取り機」といった独自のものづくりに積極的に挑戦しています。



使
っ
て
も
ら
い
た
い
で
す
い
ろ
い
ろ
な
方
に



佐藤水産(株)
石狩サーモンファクトリー第一・第二工場

安心・安全な食品づくりのため、第一工場ではHACCPに加え、ISO22000:2018を取得。厳しい衛生管理基準のもと、フレークや魚肉練製品などの加工品を製造しています。第二工場でもISO22000:2018を取得し、サケをはじめとする魚の切り身や魚卵の加工品を製造しています。

石狩から自慢の
味をお届けします



株式会社 徳重 石狩工場

自動車用ドライブシャフトブーツなど、主に自動車関連部品を中心に製造していた同工場では、新たに生活・衛生用品の製造にも着手。お尻の使い切り洗浄器で、(一社)防災安全協会の防災製品大賞2018で新製品・開発部門の金賞を受賞しました。



さくらインターネット株式会社 石狩データセンター

石狩市域におけるIoT、AI、ビッグデータなどの情報技術の活用による市民サービスの向上と、教育分野におけるICT支援、行政事務の効率化などを目指し、さくらインターネット株式会社と2018(平成30)年に包括連携協定を締結。取り組みの第一弾として、同社のIoTプラットフォーム「sakura.io」を活用した河川水位計測システムの試行運用を開始。浜益区内において基地局を6台、水位計測センサーを6カ所の橋に設置し、水位情報の測定・蓄積を行い、より一層の防災力の向上を目指しています。

国内の産業構造の変化に伴い、データセンターなどの情報産業の立地も加速。また、石狩湾新港地域の優位性を活かした再生エネルギーの活用などを目指し、「石狩市における再エネエリア設定を軸とした地産エネルギー活用マスタープラン」を2019(平成31)年に策定。次世代に向けた新たな動きも出始めています。

石狩湾新港企業団地は、面積の約1/3を緑地・公園とするなど、人と環境に配慮したゆとりある就業空間を提供しています。

また、各企業においても事務所内に保育所を併設したり、障がい者が安心して業務に専念できる、「働きやすい職場環境」づくりに努めています。



(株)食品急送

集配ドライバーや物流センターの作業員が安心して仕事ができるように、第2センター事務所棟に保育所を併設。看護師を常駐させ、子どもたちの安全に配慮するなど、企業としてスタッフの子育てをサポートしています。



(株)アイワード 石狩工場

全従業員の1割が障がい者で、障がい者と健常者が共に学び、共に育つ職場づくりを目指しています。学習会や研修会、会議や朝礼などでは手話通訳者を介して聴力障がい者も情報が共有できるよう取り組みほか、社員同士が口話・手話・筆記・手振りなどあらゆる手段で積極的にコミュニケーションを図っています。



市民にとっても石狩湾新港地域は関心が高いスポット。「いしかり市民カレッジ」が企画する「躍進する石狩湾新港～先端企業を訪ねて～」は、市民の好奇心を刺激する講座として人気があり、市民と企業をつなぐ架け橋となっています。

